

平成 27 年度

第 2 回 大槌町都市計画審議会 議事録

日時 平成 27 年 7 月 24 日（金）

午後 1 時 30 分～

場所 大槌町役場仮庁舎 3 階 中会議室

会議次第 ----- P. 1

出席者 ----- P. 2

会議録 ----- P. 3

第2回 大槌町都市計画審議会

日時 平成27年7月24日(金)
午後1時30分から
場所 大槌町役場仮庁舎3階中会議室

次 第

1、開会

2、挨拶

3、付議

4、議事

- 議案第1号 大槌都市計画吉里吉里地区土地区画整理事業の変更
- 議案第2号 大槌都市計画安渡地区土地区画整理事業の変更

5、その他

6、閉会

出席者

出席委員

会長	社団法人岩手県建築士事務所協会釜石支部長	岩 間 正 行
会長職務代理者	大槌商工会会長	菊 池 良 一
委員	前大槌町農業委員会会長	佐 藤 典 男
	大槌町議会議員	金 崎 悟 朗
	大槌町議会議員	後 藤 高 明
	大槌町議会議員	野 崎 重 太
	東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター長	河 村 知 彦
	岩手県沿岸広域振興局土木部長	加 藤 裕

事務局

大槌町副町長	大 水 敏 弘
復興局長	那 須 智
復興局復興推進課長	中 野 智 洋
復興局都市整備課長	青 木 利 博
復興局都市整備課企画推進班長	阿 部 保 幸
復興局都市整備課都市整備班長	重 光 寛
復興局都市整備課市街地再生班長	笠 井 賢
復興局都市整備課都市整備班主任	樋 口 満 夫
復興局都市整備課市街地再生班技師	植 田 悌 彦
復興局復興推進課事業推進班長	小 國 晃 也
復興局復興推進課事業推進班技師	岩 間 正 徳
復興局復興推進課事業推進班主事	小 林 弘 貴

13:30開始

■小林

定刻になりましたので始めさせていただきます。

本日は、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。

これより平成27年度第2回大槌町都市計画審議会を開催いたします。本日の進行をさせていただきます、大槌町復興推進課の小林と申します。どうぞ宜しくお願いします。

審議会に先立ちまして出席の皆さま方にお願いがございます。携帯電話につきましては、電源をオフにするか、マナーモードに設定をお願いします。今一度ご確認ください。

また、傍聴の皆さま及び報道機関の皆さま方には、受付時において「傍聴要領」を配布させていただいておりますが、会議の進行を妨げる行為がある場合には退場していただくことがありますので予めお知らせいたします。

本日は、岩崎委員が欠席となっておりますが、委員定数9名のうち8名の出席をいただいておりますので、大槌町都市計画審議会条例第5条第1項の規定によりこの審議会が成立していることをご報告いたします。

それでは、開会にあたりまして大水副町長よりご挨拶申し上げます。

■大水副町長

副町長の大水です。皆様お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。本日は27年度第2回目の都市計画審議会でございます。これまで委員の皆様には大槌町復興都市計画にかかる様々な案件につきましてご審議いただきましてありがとうございます。おかげさまで各事業着実に進みつつあるという状況になっております。本日は、安渡地区と吉里吉里地区の土地区画整理事業の区域の変更という案件でございます。事業自体は現在仮換地を順次進めておりますし、起工承諾をいただいて盛土工事を進めいるという状況になっております。吉里吉里地区につきましては、この10月にでも国道が暫定的にですがいよいよ切り替えになるというようなところまで事業が進んできております。そうした中、各地権者、各地区の境界、区域界について調査をした結果、詳細が把握できましたのでその区域界の変更をさせていただきたいというものでございます。安渡地区、吉里吉里地区でありますけれども、内容についてご確認のうえご審議いただければと思います。本日はどうぞ宜しくお願いいたします。

■小林

ありがとうございました。それでは岩間会長、議事の進行よろしく願いいたします。

■岩間会長

本日暑いところお集まりいただきましてありがとうございます。今日は気温はそんなに高くないのですが湿気が高いので大変かと思いますけど宜しくお願いします。

それでは次第3の「付議」に移りたいと思いますので準備をお願いします。

■小林

本日の審議会の付議につきまして、副町長から会長に付議書を読み上げて付議いたします。大水副町長宜しくお願いいたします。

■大水副町長

大槌町都市計画審議会会長様 大槌町長 碓川 豊

大槌都市計画吉里吉里地区及び安渡地区土地区画整理事業の変更（付議）

このことについて、都市計画法第19条第1項の規定により貴審議会に付議します。

なお、同法第17条第2項に基づく意見書は提出されませんでした。

（会長へ付議書を手渡す）

■岩間会長

承知しました。

それでは、早速議事に入りたいと思います。実は昨日、町方地区の土地区画整理審議会として事務局様のおかげで仮換地も進みこれから町方地区もどんどん事業進んでいくのかなと思っております。それでは本日審議案件2件でございます。議案第1号吉里吉里地区土地区画整理事業の変更について事務局より説明をよろしくをお願いします。

■都市整備課 重光班長

みなさんこんにちは。都市整備課都市整備班の重光と申します。宜しくお願いします。まず最初に吉里吉里地区の震災復興土地区画整理事業の変更の都市計画案についてご説明をさせていただきます。1番目に都市計画変更案について、2番目に都市計画変更案の流れについてという流れでご説明させていただきます。

まずこれまでの経緯といたしまして、平成24年から平成26年度までの流れについてご説明いたします。主な取り組みといたしまして、平成24年9月都市計画決定をいたしまして、平成25年3月に土地区画整理事業の事業計画の認可を受けております。平成25年6月には、第1回土地区画整理審議会の開催、こちらは平成27年3月までに、合計9回開催させていただいております。平成25年10月には、土地利用意向確認等個別面談会を開かせていただきました。同じ平成25年10月に併せて第1回仮換地指定を行い、平成27年3月まで計6回指定させていただいております。平成26年3月には第1回事業計画変更認可を受けております。前年度の平成26年につきまして

は、平成26年の8月に仮換地案の個別説明会を開かせていただいております。平成26年11月に第2回事業計画変更認可を受けております。こちらにつきましては、主な内容といたしまして、区画道路の線形の見直し、歩行者通路の廃止、面積の拡大縮小を行いました。

次に今回の都市計画変更案についてですが、こちらの区域の拡大縮小ということになります。面積につきましてですが、変更前は9.12haだったものが、今回8つの拡大縮小につきまして、約9.11haへ変更となっております。面積でいうと約、60㎡の変更となっております。変更内容といたしまして、立会いによる地区界の確定及び防潮堤用地の境界の確定に伴い一部区域を拡大縮小ということになります。

今回の変更計画書といたしまして、公共施設の配置の部分で、変更前は国道45号線の内側に地区内の幹線道路を配置するとともにという表現を使わせていただいておりますが、変更後は国道45号の地区内への再配置や避難路の整備を行う。という形に変えさせていただいております。あとは変更はないですが、公園及び緑地については、誘致距離や周辺環境、景観等を考慮して適宜配置するということになっております。その他の公共施設についてですが、土地利用を考慮し、水路の再整備を行うということになっております。宅地の整備ですが、津波に強いまちづくりを進めるため、地盤の嵩上げを行う。災害公営住宅の整備を図る。従前の敷地規模を考慮し、街区形成を行い、宅地の整備を図る。幹線道路沿道に産業系土地利用の誘導を図ることとなっております。理由としましては、東日本大震災津波の被害から早期復興を図るため、本案のように変更するものでございます。変更理由につきましてですが、本地区は、東日本大震災津波の被害から早期復興を図るため、大槌町東日本大震災津波復興計画・基本計画および実施計画に基づく復興まちづくりお行なうべく、平成24年9月に面積約8.4haの都市計画決定、平成25年3月に面積約9.1haの都市計画変更決定、平成26年11月に事業計画(第2回変更)を行い取り組んでいるものである。

今回、防潮堤の用地界や立会によって事業区域界が確定したことに伴い、一部区域を拡大及び縮小することとし、区域面積を約9.12haから約9.11haに変更するものとなっております。これらのことによりまして、吉里吉里地区土地区画整理事業を本案のように変更するものでございます。

今回8ヶ所区域の拡大縮小があります。①から⑥につきましては、地区境界の変更ということで変更になるものです。⑦につきましては、区域除外となっております。⑧につきましては、防潮堤に絡みます区域の拡大となっております。先ほど申し上げましたとおり、①から⑥につきましては、立会による筆界の線が明確になりまして、地区界を精査し、地区境界を確定したうえで、変更するものでございます。⑦の区域の除外ですが、急傾斜地対策の筆の分筆に伴いまして、急傾斜地対策施設の土地を土地区画整理事業から除外するということになっております。⑧ですが、防潮堤用地の用地界が確定し、土地区画整理地区と防潮堤区域の狭間の残地について、有効な土地利用を図るため

に区域を拡大するものとなっております。

最後になりますが、都市計画変更案の流れについてご説明させていただきます。
現在、都市計画審議会をやらせていただいているのですが、6月までに都市計画の素案の作成を行ってまいりました。6月26日に都市計画変更案にかかる住民の方々の説明会を行なわせていただきました。7月1日から15日間、約2週間縦覧といたしまして意見書の提出期間を設けましたが、この期間においても、意見書等はでませんでした。それで、本日の都市計画審議会にかけさせていただきます。予定ですが、今回の都市計画審議会を通りましたら、都市計画決定の告示を8月ごろ予定しているということでございます。以上になります。

■岩間会長

はい。ありがとうございました。只今事務局から説明いただきましたけれども、委員の皆様ご意見・ご質問ございましたら宜しくお願いします。
何かございませんか。

(無しの声)

わかりました。それでは無いということなのでこれにて審議をさせていただきます。
議案の第1号大槌都市計画吉里吉里地区土地区画整理事業の変更については原案通り承認することにご異議ございませんか。

■委員

異議なし。

■岩間会長

全員異議なしとのことなので承認いたします。続きまして議案第2号大槌都市計画安渡地区土地区画整理事業の変更について事務局の説明を求めます。

■都市整備課 笠井班長

都市整備課市街地再生班の笠井と申します。宜しくお願いします。それでは議案第2号大槌都市計画安渡地区震災復興土地区画整理事業の都市計画変更案についてご説明させていただきます。只今の吉里吉里と内容はほとんど同じですが、説明内容としては、都市計画変更案についてと、都市計画変更案の流れについての2点になります。

次に、これまでの経緯をご説明させていただきます。平成24年9月に安渡地区震災復興土地区画整理事業の都市計画決定の告示を行っております。平成25年3月震災復興土地区画整理事業の事業計画の認可を受けております。平成25年の6月には、第1回土

地区画整理審議会の開催を行なっておりまして、現在まで計7回の開催をしております。平成25年の10月からは土地利用意向確認等個別面談会を行なっております。平成26年3月には、第1回事業計画の変更認可、平成26年7月からは、第1回安渡地域復興協議会の開催を行なっております。平成26年11月からは、第1回仮換地指定を行なっておりまして、今日まで計3回行なっておりまして、現在仮換地の指定率は34.6%という状況になっております。平成26年12月からは、仮換地案個別説明会を行なっておりまして、これは現在も行なっており、先週も何件か行ないました。平成27年3月には、第6回安渡地域復興協議会の開催を行なっております。

次に、今回の都市計画変更案の内容になります。上段のオレンジで書いてあるのが変更前、下段の赤で書いてあるものが今回の変更内容となっております。変更前が約6.0haだったものが、今回の変更で約5.9ha、0.1haの減ということになっております。内容につきましては後ほどご説明いたします。変更の大まかな内容につきましては、立会いによる地区界確定に伴う、一部区域の拡大及び縮小、JR横断部の構造計画の確定による区域拡大、漁集道路の線形見直しによる区域縮小ということになります。

続きまして変更計画書の説明になります。上から面積ですが、先ほど申しましたとおり、約6.0haから約5.9haに減っております。その他、公共施設の配置といたしまして、幅員8mの道路が一部8.5mの道路ということで変更させていただいております。その他、6mから4mの幅員の区画道路の若干の変更がございます。同じく公園緑地も、若干の配置の変更がございます。宅地の整備ということですが、従前の敷地規模を考慮し、街区形成を行い、宅地の整備を図る。災害公営住宅の整備を図る。ここまでは従前の内容と同じですが、今回、津波に強いまちづくりを進めるため、地盤の嵩上げを行なうという文言を加えております。これは平成25年の10月に防潮堤の線形変更がございました、それに伴って、区画整理地内の盛土を行なったことによる文言の追加となっております。

続きまして、変更理由書をご覧ください。本地区は、東日本大震災津波の被害から早期復興を図るため、大槌町東日本大震災津波復興計画・基本計画および実施計画に基づく復興まちづくりを行なうべく、平成24年9月に面積約6.0haの都市計画決定、平成26年3月に事業計画決定(第1回変更)を行い取り組んでいるものである。今回、事業の精査により、JR横断部の構造計画が確定したことで、区域の拡大の必要が生じた。また、地区東部の漁集道路の線形の見直しが行なわれ、地区界に入り込んでくることから、当該部分を除外することとした。さらに、地権者の立会いによって事業区域が確定した。これらに伴い、一部区域を拡大及び縮小することとし、区域面積を約6.0haから約5.9haに変更する。これにより安渡地区震災復興土地地区画整理事業を本案のように変更するものである。という内容で縦覧させていただきました。

続きまして、変更箇所の詳細な内容についてご説明させていただきます。①から⑤まで①、③、④は立会いにより、筆界の線が明確になり、地権者との地区界が確定したことに

よって区画整理の区域が確定したという内容となっております。②の区域拡大のところですが、先ほど説明で申し上げましたとおり、道路幅が8 mから8.5 mに広がったところで、J Rの横断部になるのですが、こちらに横断するためにJ Rの下をボックスカルバートというものを入れてまして歩行者、自動車を通れるような構造にするのですが、その構造がJ Rとの協議によって、その範囲が確定したことによりまして斜線部の区域の拡大をするものでございます。続いて⑤の区域縮小になるのですが、こちらに漁業集落防災機能強化道路の計画に伴い、区域を縮小するという説明になっているのですが、こちらが安渡地区東側幹線になるのですが、こちらの道路高さが高いために法が発生します。法の部分が区画整理地内に影響しないようにその分区画整理の区域を縮小して今回の範囲の決定ということにした次第でございます。

最後になりますが、都市計画変更案の流れについてご説明させていただきます。まず、6月までに都市計画案の素案の策定ということで、主に岩手県や、J Rとの関係機関との協議を整えてまいりました。7月5日に、安渡地区の地域復興協議会の中で、都市計画の変更案について説明会ということで、同日に行なわせていただきました。7月9から23日までの2週間、都市計画案の縦覧ということで都市計画法第17条に基づく縦覧を行なわせていただきました。これによる意見書等はございませんでした。縦覧者については、2名ございましたが、意見書等はございませんでした。それで本日の都市計画審議会ということになります。今後になりますが、岩手県知事の同意が必要となりますので、書類の取り交わしが順調にいけば8月に都市計画の変更の告示という予定でございます。以上で説明を終わらせていただきます。

■岩間会長

はい、ありがとうございます。安渡地区の事業計画の変更案について事務局の方より説明いただきましたけれども、何かご意見ご質問等ございませんか。

■野崎委員

はい。

■岩間会長

はい、野崎委員。

■野崎委員

このJ Rの道路幅が広くなるのはわかるのですが、高さはどうなってくるの。あそこはなかなか高さがとれなくてすごく不便なのです。そのところはもうどうなっているのかなと。

■岩間会長

わかる範囲で結構ですのでお願いします。

■笠井班長

8ページのところで、ここがJRで、この下をボックスカルバートができるのですが、ここに北側幹線道路というものがございまして、こちらの高さを下げる。それに合わせてこちらの道路も下げることによって消防自動車等通れるような高さで計画をしております。

■野崎委員

はい、わかりました。

■岩間会長

その他、何かありますか。

それでは無いようですので議案の第2号大槌都市計画安渡地区土地地区画整理事業の変更について原案通り承認することについてご異議ありませんか。

■委員

異議なし。

■岩間会長

ありがとうございます。異議なしということなので承認いたします。

今日は何かあっさり終わってしまったのですが、これで審議は終わらせていただきます。続きまして次第の5その他ですけれども、何か皆さんからありましたら。次の審議会は9月まで無いようなので何かありましたらお願いします。

■委員

なし。

■岩間会長

それでは無いようなのでこれで審議を終わらせていただきます。今日はどうもありがとうございました。

■小林

岩間会長、委員の皆様ご審議いただきましてありがとうございました。それではこれら
をもちまして平成27年度第2回大槌町都市計画審議会を終わります。本日はお忙しい
中誠にありがとうございました。

14時01分終了